

コンプライアンスポリシー

私たちバリュエンスグループは、リユース業の健全な発展に貢献する担い手として、また社会の公器としての行動が求められており、お客様が安心して取引できる、公正で透明なリユース市場を創造する責務を負っています。

あらゆる企業活動は、コンプライアンスの精神に基づいて行われ、役職員一人ひとりが自ら実践するものです。コンプライアンスの実践とは、単に「法令やルール」に反しなければよいというのではなく、「高い倫理観に基づく行動」を意味します。

私たちは、リユース業者として模範的な企業活動を行うため、役職員一人ひとりに共通した判断基準である「コンプライアンス行動規範」を定め、コンプライアンス最優先の行動の徹底を図ります。

1. 行動指針

- ・ 高い倫理観に基づく誠実な行動で、社会からの信頼を確立します。
- ・ 法令等を厳格に遵守し、公正で誠実な企業活動を遂行します。
- ・ お客様第一主義に努めます。
- ・ 人権及び職場環境を尊重します。

2. モニタリング・教育

- ・ 高い倫理意識の下、社会規範にもとる事態を事業全体に対するリスクと捉え、社内規程に基づきコンプライアンスを徹底する体制を構築しております。
- ・ 社会からの信頼を確立するため、研修・教育体制を整備し、コンプライアンスの実践に必要な知識や情報の周知を徹底しています。

3. 法令等の遵守

- ・ リユース業の健全な発展に貢献すべく、古物営業法をはじめとする関係法令等を正しく理解し、ルールの遵守を徹底します。
- ・ 窃盗などの犯罪による被害を少しでも軽減するため、警察等の捜査機関からの要請に積極的に協力します。万が一、盗品やコピー品、その他不正な商品の持込みがあった場合に備え、速やかに捜査機関に報告する体制を整え、犯罪被害の拡大を防止に努めます。

4. 公正な取引の推進

- ・ 株主やお客様をはじめ、すべてのステークホルダーの皆様に安心してご利用いただけるよう、健全な取引環境を整え、公正で透明な取引を行います。

- ・ 取引環境を健全に保つため、独占禁止法、下請法、不正競争防止法、その他の不公正な取引を規制する法令等の意図を正しく理解し、誠実な対応を行います。

5. 贈答・接待・利益供与の禁止

- ・ すべてのお取引先から、不正・不適切な贈与・接待などの利益を受けません。利益供与の可能性があるときには、法令及び社内規程の許す範囲で、良識を持って行動します。
- ・ すべてのお取引先に対して、不正・不適切な贈与・接待などの利益提供をしません。お取引先との接待・贈答品の授受に関しては、健全な社会常識に沿った行動をします。
- ・ お取引先に対して、不当又は反社会的な金銭リベート及びそれに類するものを要求しません。
- ・ 自己や自己の関係者への優遇を要求しません。
- ・ 公務員に対して国家公務員倫理法、国家公務員倫理規程、その他各官公庁等で定める同種の規程等に抵触する接待・贈答などは行いません。また、海外の公務員についても同種の規程等を遵守します。

6. 贈収賄・腐敗防止に向けた取り組み

- ・ あらゆる形態の腐敗の防止に厳しく取り組みます。
- ・ 海外における「ファシリテーションペイメント」行為についても、発生リスクの高い地域や業務行為を分析した上で、現地従業員に対するファシリテーションペイメント禁止の周知徹底、取引先選定での考慮を実施します。
- ・ 政治、行政、監督官庁と健全で正常な関係を保ち、法令や社内規程等に反する不正又は不適切な寄付・献金を行いません。

7. マネーロンダリング

- ・ 反社会的勢力に対する資金提供を行いません。
- ・ 犯罪収益移転防止法に基づき、違法行為から生じた収益に関わる取引、テロリストに資金を供与する取引、各国政府等が取引を禁じた者との取引に関与しません。また、疑わしい取引に該当する可能性がある場合は、適切に届出を行います。

8. 反社会的勢力への対応

- ・ 反社会的勢力排除宣言及び反社会的勢力対応規程に基づき、反社会的勢力に対していかなる関係も持たない企業姿勢を堅持し、毅然とした態度で対応します。

[反社会的勢力排除宣言](#)

9. 情報管理

- ・ 会社の秘密情報、顧客情報、及び個人情報 は厳重に管理し、これを第三者に漏洩せず、また、会社の業務以外の目的のために使用しません。
- ・ 第三者から開示を受けた秘密情報も会社の秘密情報と同様に取り扱います。
- ・ 投資家保護のために法令又は証券取引所の規則等により定められた会社情報の積極的かつ公正な適時開示を行います。
- ・ 当社や取引先等の非公開の重要事実を知った場合は、その事実が公表されるまでは、その株式等の売買（インサイダー取引）を行いません。
- ・ 他人の営業秘密の不正な取得や使用などの不正競争を行いません。

10. 会計報告及び納税義務の履行

- ・ 会社の資金・資産は適切に管理し、正当な業務目的にのみ使用します。簿外の資金・産は保持しません。
- ・ 株主、投資家などのステークホルダーの信頼に応えられるよう、会計報告は正確性を常に確保し、適時・適切に行います。虚偽又は誤解を招く帳簿の記載は行いません。
- ・ 各国税法を遵守の上、適切かつ公正に納税義務を履行します。

11. 個人情報保護

- ・ 当社の「個人情報保護方針」「個人情報保護基本規程」等を踏まえ、全役職員へ個人情報保護の周知徹底を図る体制整備に努めます。
- ・ 海外における個人情報保護関連規制についても、適切に取り組みます。

12. 内部通報制度

- ・ 法令違反、社内ルール違反など、コンプライアンス上の問題を発見した場合、それらの問題を通報（相談）できる窓口を、バリュエンスグループ社内・社外に設置しています。この窓口では、相談者・通報者のプライバシーが厳守されており、通報・相談した当人に不利益が生じることがないように制度化されています。現在窓口は、内部監査室のほか、外部弁護士事務所の2つを設けています。
- ・ 申告された案件は、担当部署において調査・対応し、再発防止策の実施など必要な措置を執るとともに、その結果をリスクマネジメント委員会や取締役会に報告しています。